

福岡県竜田鉱山のウラン鉱床について

稲井 信雄* 藤井 紀之**

1. 位置交通および鉱山の沿革

竜田鉱山は福岡県田川郡川崎町にあつて、下真崎部落の西方約 1.5 km に位置する。日田線川崎駅から下真崎までバス、さらに徒歩約 20 分の所にある。

鉱業権者は日鉄鉱業 K. K. で福岡県探掘 2,059 号（金・銀・銅・タンゲステン・ウラン・珪石・長石）である。当鉱山は珪石・長石を採掘しているが、かつては銅鉱も僅か採取されたといわれる。

昭和 32 年初めにウラン鉱が発見されたので、さらに今回詳細な調査を行なつたものである。

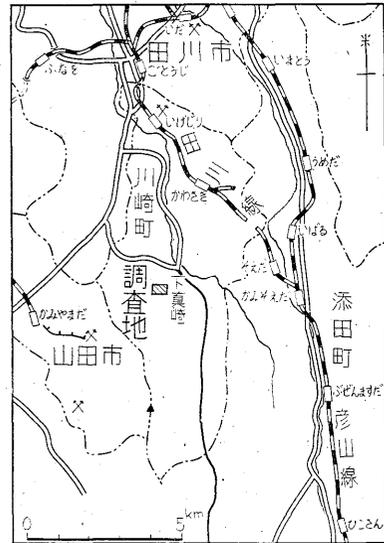
2. 地 質

大部分が花崗岩類と沖積層からなっている。花崗岩類は中粒の黒雲母花崗岩（真崎型）と花崗閃緑岩（朝倉型）の 2 種類に大別される。前者は調査地域の北半部、後者は南半部を占めており、両者は E—W 性の断層で接している。このほかに坑内では優白質粗粒の黒雲母花崗岩（嘉穂型）が見られる。ペグマタイトは真崎型黒雲母花崗岩中および花崗岩各型の境界部に発達している。

3. 鉱床および鉱石

ペグマタイト鉱床は第 1・2・3 のほぼ円筒状の鉱体からなり、いずれも珪石および長石を採掘している。第 1 および第 3 鉱体は径 30～40m、第 2 鉱体は長径 10m 程度のものである。

これらの鉱体には部分的に放射能の高い所があり、閃ウラン鉱・燐灰ウラン鉱・燐銅ウラン鉱および変種ジルコンが散点している。また第 3 鉱体採掘跡のほぼ中央を



第 1 図 位置図

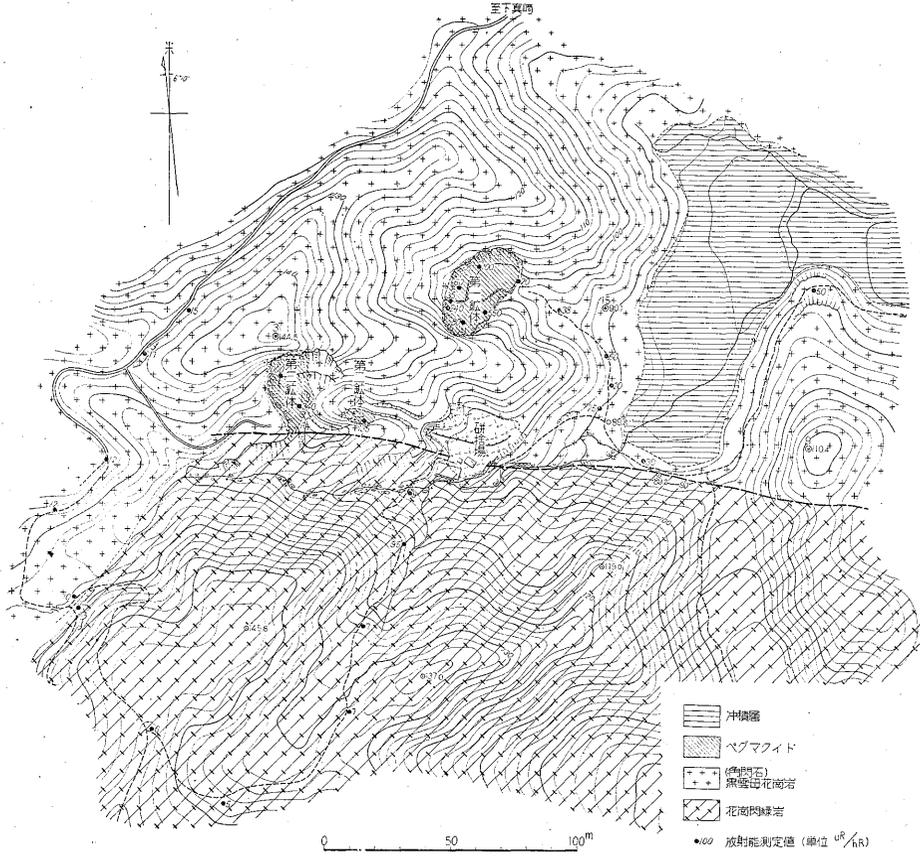
南北に切る裂かに沿つて閃ウラン鉱がやゝ濃集し、輝水鉛鉱・黄鉄鉱を多く含む緑泥石・長石脈があり、坑内にも裂かに沿つてほぼ同様の脈が発達する。坑外のもは走向 N10°W、傾斜 50°E、幅 30cm 以下、走向延長 50 cm 以下で、部分的な放射能測定値 2,000 μ r/h（化学分析 0.8%U）の所がある。坑内のもは走向 N80°E、傾斜 80°S、幅 20 cm 以上、走向延長 50 cm 以下で、部分的に放射能測定値 1,600 μ r/h であつた。両者とも比較的傾斜方向に発達する点の特徴である。

閃ウラン鉱は緑泥石集合体の中に黒色ほぼ自形で、周囲にときに明瞭な焼けを示し、粒度は最大径 1 mm 程度のものである。

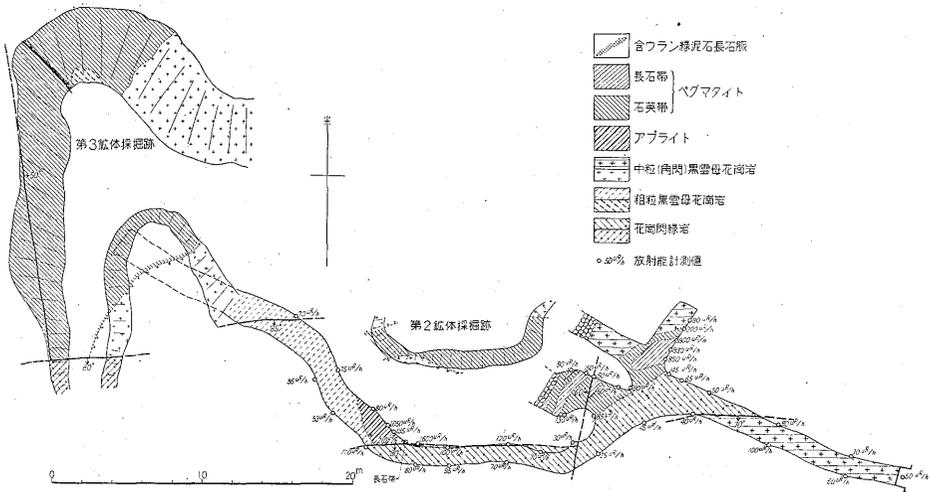
* 福岡駐在員事務所

** 鉱床部

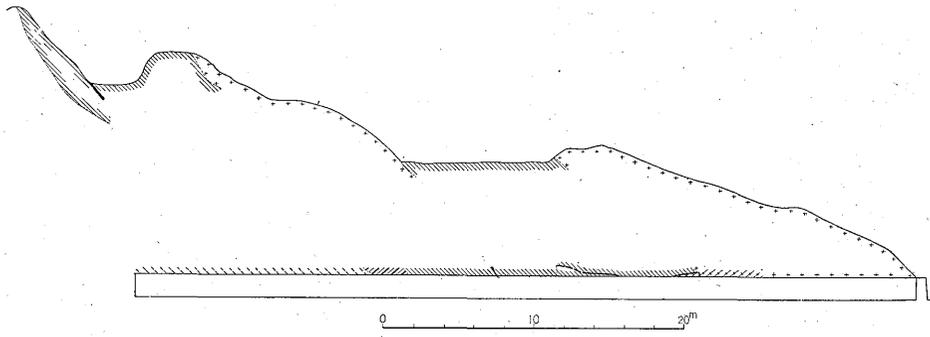
福岡県竜田鉱山のウラン鉱床について (福井信雄・藤井紀之)



第2図 下真崎付近地形および地質鉱床図



第3図 竜田鉱山鉱床地質図(平面図)



第 4 図 亀田山鉾地質図 (断面図)